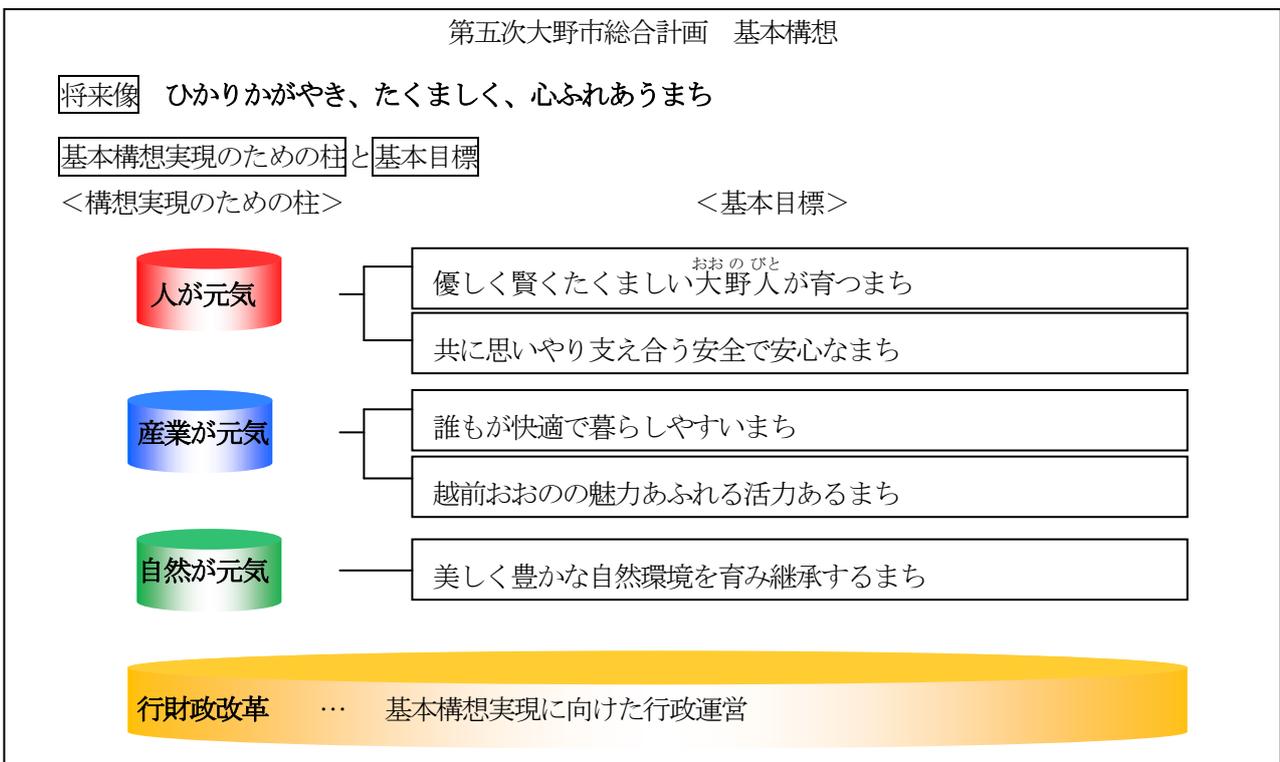


第五次大野市総合計画
令和元年度における取組状況報告

1 総合計画とは

- 大野市の将来を展望し、まちづくりの目標と方向を明らかにした最上位の計画であり、長期的・総合的な市政運営の指針となる計画
- 「基本構想」と「基本計画」で構成
- 基本構想では大野市の将来像やまちづくりの目標を設定
期間は平成23年度から令和2年度までの10年間
- 基本計画では基本構想に沿って必要な施策や事業を体系的に明示
後期基本計画“越前おおの元気プラン”の期間は平成28年度から令和2年度までの5年間



2 令和元年度の実施状況

～後期基本計画“越前おおの元気プラン”4年目の主な事業の実施状況～

(1) 「基本目標 優しく賢くたくましい大野人が育つまち」

- ・第40回大野市美術展において、「結の故郷賞」を新設するとともに、記念講演会や各部門における市民参加型の体験教室を開催するなどし、文化のさらなる発展を図った。
- ・エキサイト広場のトレーニング機器を充実させた結果、リピーターの確保に加え初心者や女性、高齢者の利用にもつながり、トレーニング室の年間利用者数が4,544人と、前年度に比べ7割以上増加した。
- ・令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施により子育て世代への経済的支援を充実させた。また、民間保育所2園の認定こども園への移行や施設整備に対し支援を行い、教育・保育環境を充実させた。

- ・第2期大野市子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに「大野ですくすく子育て応援パッケージ」を作成し、子育て世代への支援をより一層充実させた。
- ・医療的ケアが必要な子どもの保育所入所に向けて必要な準備を行った。

⇒教育、文化、スポーツの振興を継続しながら、若者が大野に住み、結婚し、子育てすることの希望や喜びを感じられるよう、市民の意見を参考とした若者支援、子育て支援を更に充実させた。



「大野ですくすく子育て応援パッケージ」

(2) 「基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち」

- ・生活支援体制整備事業により、市全域を対象に第1層協議体を、阪谷・小山・乾側・富田五箇地区において住民を主体とした第2層協議体を設置し、生活支援コーディネーターを中心に、地域における支え合いの体制づくりに取り組んだ。
- ・健康づくりに関心を持つ人を増やすため、自主的に行った健康づくりや健康に関する講座などへの参加をポイントにする健康づくりポイント事業を実施するとともに、体力測定、食育、健康づくりを一度に体験、学習できる「結の故郷健康・食守フェスタ」を開催した。また、なじみのあるラジオ体操を健康づくりに取り入れる市民を増やすため、正しいラジオ体操講習会を開催した。
- ・犯罪のないまちづくりや災害に強いまちづくりを目指し、周囲に影響のある管理不全な空き家の所有者に対し、適正な管理の指導を行った。



ラジオ体操講習会

⇒地区における住民同士による高齢者の見守りなどの支え合い体制づくりを拡大するとともに、市民が楽しみながら自身の健康づくりに取り組めるような仕組みづくりを進めるなど、「健康のまちづくり」の実現に向けて取り組んだ。

(3) 「基本目標 誰もが快適で暮らしやすいまち」

- ・大野油坂道路（3.5キロメートル）における全ての用地取得が完了した。
- ・道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備工事に着手した。
- ・「大野市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の安全性と信頼性の確保や長寿命化による維持管理コストの縮減などを図った。
- ・公共用水域の水質保全及び生活環境改善を目的とし、公共下水道及び農業集落排水事業の計画的な整備や施設の機能維持、合併処理浄化槽の普及を図った。
- ・JR越美北線の車両（車体及び車内）ラッピングを行い、越美北線の魅力を向上させるとともに、市内外に対して越美北線の利用促進や本市のPRを図った。



道の駅「越前おおの 荒島の郷」

⇒大野油坂道路整備の着実な進展と道の駅「越前おおの 荒島の郷」整備の着手をはじめ「大野市高速交通アクションプログラム」に位置付けられる各種施策に、ソフト、ハード両面から取り組んだ。

(4)「基本目標 越前おおのの魅力あふれる活力あるまち」

- ・市長による県外マスメディアへのトップセールスなどによりテレビ番組や雑誌などの取材につなげ、本市の観光資源や伝統文化などの魅力を広く発信した。
- ・道の駅のオープンに向けて、出荷団体「大野市道の駅産直の会」会員を対象に各種研修会などを実施し、農林業者や商工業者などの知識と技術の底上げ及び商品づくり・商品開発が進む土壌づくりを行った。
- ・武家屋敷旧田村家、内山家にフォトスポットを設置し、来館者の増加とまちなかの回遊性向上を図った。
- ・日本一のきれいな星空を活かした星空ハンモックや星降るランタンナイトなどのイベントを開催し、六呂師高原のPRと集客を図った。
- ・大野市観光協会と協力して、天空の城越前大野城御城印、まちなか散策、スカイランタンイベントなどで団体ツアー誘客を行った結果、年間観光入り込み客数が約199万人と、前年度を上回った。
- ・市内の定住への支援として、住宅の新築や改修時の補助のうち、Uターンを含む市外からの転入世帯3世帯、多世代同居世帯10世帯に補助を行った。
- ・空き家や空き店舗を活用して商店街のにぎわいを創出するイベント「空き家とサーカス」などの商店街と地域の課題解決のための新たな取り組みについて、関係機関と連携し支援した。
- ・新しい形の創業支援などを実施した結果、創業者が新たに9人（うち女性3人）増加した。
- ・全体面積約17.2ヘクタール、分譲面積約12.0ヘクタールの大野市富田産業団地を整備し、令和2年5月から南側の区画約6ヘクタールを分譲開始した。



星空イベント

⇒「大野市高速交通アクションプログラム」にも位置付けられる、農産物のブランド化や観光資源の活用、雇用の確保、移住定住の支援などについて、新たな観点や手法を取り入れながら推進した。

(5)「基本目標 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち」

- ・本市の水環境に対する市民の自信と誇りの醸成を図るため、水に関する学習や研究の拠点施設として「越前おおの水のがっこう」を整備した。
- ・歴史的なまち並みを保全するため、景観形成地区である五番通り地区の外観改修1件に補助した。

⇒平成30年度に目標を達成した東ティモール民主共和国への支援活動で得た成果や知見を市全体に共有し、環境保全などに生かしていく方策を検討するとともに、市民が水について学ぶことのできる環境を整備した。



「越前おおの水のがっこう」

(6) 「基本構想実現に向けた行政運営」

- ・第六次大野市総合計画（令和3年度～）の策定に向け、アンケート調査を通して市民の満足度やニーズを把握するとともに、各地区においてワークショップを開催し、市の現状や将来に関する意見交換の場を設けた。
- ・農業集落排水事業において、処理施設ごとに効率的な維持管理を図るため、最適整備構想を策定した。



地区別ワークショップ

⇒人口減少時代に対応した将来の行財政運営について検討を進めるとともに、新たなまちづくりの指針となる第六次大野市総合計画の策定に向け、丁寧に意見収集や意見交換を行い、将来像や基本目標などからなる基本構想案を作成した。

3 将来の見通しの推移状況と成果指標の達成状況

(1) 人口の推移状況 《令和2年目標人口 32,000人》

平成22年 35,291人 (国勢調査)

令和元年 31,264人 (10月1日現在の福井県人口推計)

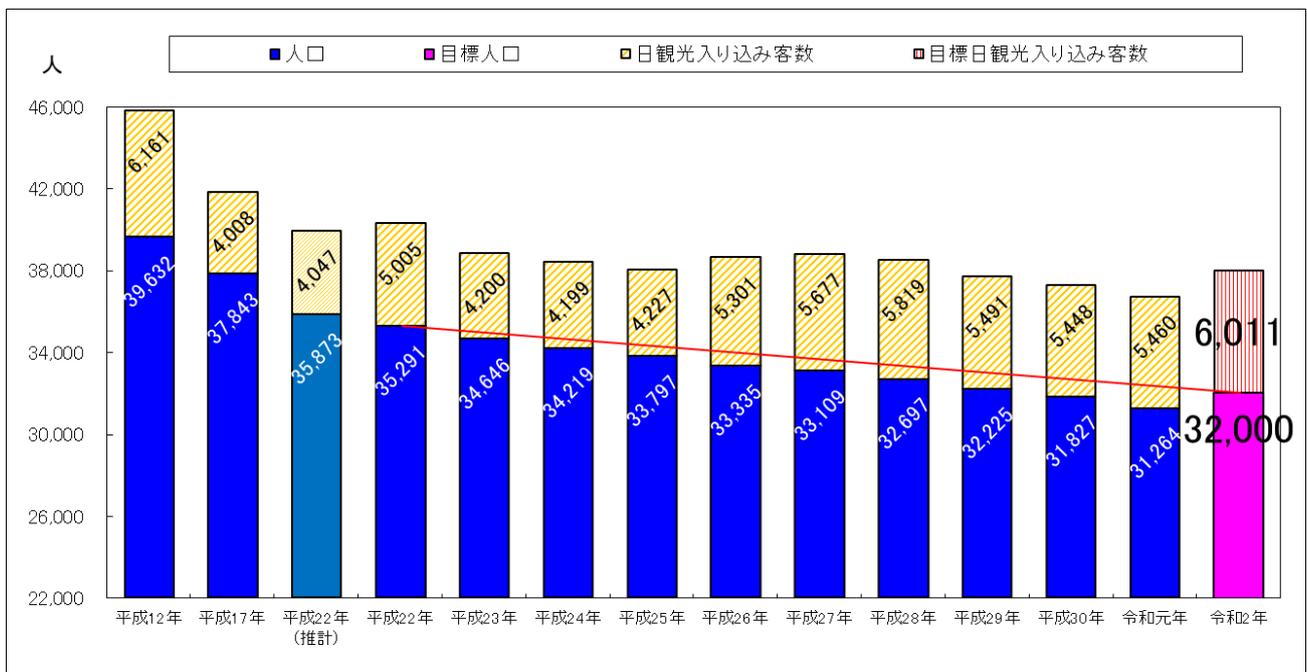
⇒ 年間400人以上のペースで人口減少が進んでいる。

(2) ふれあい交流人口の推移状況 《令和2年目標ふれあい交流人口 38,000人》

平成22年 40,296人 (平成22年の推計値よりも約300人増加)

令和元年 36,724人 (推計人口+1日当たり観光入り込み客数)

⇒ 1日当たり観光入り込み客数の横ばい状態が続いており、平成28年度を最後に、目標に届かない状況が続いている。



図：人口とふれあい交流人口の推移（資料：国勢調査、福井県人口推計、市商工観光振興課）

(3) 成果指標の達成状況

令和元年度に目標を達成した成果指標の数 36 (32)

()内は前年度達成数

基本目標ごとの基本施策数・成果指標数・令和元年度の目標達成数

基本目標	基本施策数	成果指標数	目標達成 成果指標数
優しく賢くたくましい大野人が育つまち	5	11	3 (4)
共に思いやり支え合う安全で安心なまち	8	23	11 (11)
誰もが快適で暮らしやすいまち	8	18	5 (3)
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	8	25	11 (9)
美しく豊かな自然環境を育み継承するまち	5	12	4 (3)
基本構想実現に向けた行政運営	4	5	2 (2)
合計	38	94	36 (32)

後期基本計画“越前おおの元気プラン”掲載成果指標の達成状況一覧

は目標達成しているもの

基本目標	基本施策	成果指標				単位
		指標	平成26年度 現状	令和元年度末 実績	令和2年度 目標	
優しく賢くたくましい大野人が育つまち	結の心あふれる人づくり	図書館の来館者数	—	97,555	87,500	人
		公民館講座・教室受講者数	24,428	25,764	27,500	人
		国際交流講座開催数	10	14	20	回
		ICT機器の活用率	—	小学校 87 中学校 73	100	%
		「将来の目標や夢を持っている」割合	小学校 92 中学校 72	小学校 89 中学校 83	小学校 100 中学校 100	%
	豊かな心を育てる文化力の育成	指定等文化財件数	135	142	141	件
		公演などの開催回数	15	6	16	回
	活力あふれるスポーツ社会の実現	みんなでスポーツ参加者数	2,149	2,215	2,500	人
		スポーツ施設の利用者数	286,971	255,833	300,000	人
	共に力を合わせるふるさとづくり	協働のモデル事業	2	0	4	件
人権関係の啓発活動		19	28	20	回	
共に思いやり支え合う安全で安心なまち	高齢者の安全安心の確保と社会参加の促進	要介護認定率	19.2	18.6	22.5 以下	%
		サロンの参加人数	18,700	18,064	22,000	人
		雇用が促進された高齢者の数	6	28	30	人
	障害のある人への支援	障害者相談支援センター相談件数	3,153	3,750	3,300	件
		障害者が一般就労した件数	23	38	35	件
		児童デイサービスセンター利用件数	723	1,160	750	件
	子どもと子育て家庭への支援	地域子育て支援センターの利用者数	421	464	430	人
		婚活セミナー参加者数 ※	187	0	250	人
	保健予防と地域医療の推進	特定健康診査の実施率	39.5	43.8	60.0	%
		特定保健指導実施率	22.0	31.43	60.0	%
		かかりつけ医の浸透率	74.5	77.7	83.0	%
	共に支え合う地域福祉の推進	自立相談支援センター相談件数	—	24	60	件
		ボランティア派遣者数	98	311	120	人
	災害に強いまちづくりの推進	自主防災組織の結成率	93.0	96.6	100	%
		普通救命講習の受講率	16.0	36.8	26.0	%
	防災・消防基盤の整備	里山砂防事業の実施箇所	1	1	2	箇所
		住宅の耐震化率	69	71	79	%
		消防水利の充足率	54.5	58.4	65.0	%
		被災者用トイレ環境の整備	0	市 40 県 17	50	基
		被災者の安心感の向上	1	1	1	回/年
周囲に影響のある管理不全な空き家等の戸数		96	79	90	戸	
犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進	刑法犯認知件数	120 (26年)	77	100 以下	件	
	消費者相談センター相談件数	215	200	260	件	

※婚活セミナーは、事業効果を検証し事業を見直したことにより、実施していません。

基本 目標	基本施策	成果指標					
		指 標	平成 26 年度 現状	令和元年度末 実績	令和 2 年度 目標	単位	
誰もが快適で暮らしやすいまち	中部縦貫自動車道の整備促進	中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線 開通	大野東～和泉間の 工事着手	大野～大野東間の用地 取得(100%)、真名川橋 の下部工事着手、下山 トンネルの貫通、九頭 竜川橋上部が接合	大野～油坂間の 一部供用開始		
		「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」に おける核となる施設の整備	重点「道の駅」に選 定	名称決定、土木・建築工 事の施工	供用開始		
	幹線道路網の整備	国道158号境寺・計石間の供用開始	工事未着工	詳細設計、用地取得(一 部)、道路改良工事	供用開始		
		西部アクセス道路の供用開始	事業化	供用開始済	供用開始		
		都市計画道路中保中野大橋線の整備	未着手	事業化	事業化		
	人にやさしい道路 環境の創出	市道の改良率	82.5	83.1	83	%	
		橋梁補修数	9	15	15	橋	
		歩道のバリアフリー率	40.7	42.4	41.9	%	
	快適な生活関連の 基盤整備	上水道の有収率	68.9	70.0	75.0	%	
		公共下水道整備率	54.5	74.6	78.1	%	
		合併処理浄化槽設置数	1,595	1,668	1,778	基	
	快適な住宅の整備	高齢者等賃貸住宅家賃補助件数	48	31	64	件	
	高度情報化の推進	観光Wi-Fiステーションの設置箇所数	0	14	15	箇所	
	公共交通手段の確 保	大野市内バス乗客数	35,425	24,674	36,000	人	
		広域路線バス乗客数	284,451	205,329	285,000	人	
		越美北線の乗客数	336,378	336,307	347,000	人	
	雪に強いまちづくり	流雪溝の整備	87,403	87,890	88,000	m	
		降雪期前の雪下ろし作業登録者数	123	83	200	人	
	越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	越前おおのブランド 戦略の推進	ブランド発信にかかわる人数	569	735	750	人
			里の恵み認証登録者数	31	35	60	人
産地保証登録者数			105	129	150	人	
越前おおの型農業 の推進		活性化に取り組む集落数	18	22	30	団体	
		新規就農者数	21	27	30	人	
		特産作物の生産拡大	9	58	45	件	
		特産作物の生産促進	里芋 111	里芋 83.5	里芋 130	ha	
			ナス 3.9	ナス 2.4	ナス 13		
			ネギ 35	ネギ 24.5	ネギ 40		
			キク 14	キク 11.1	キク 16		
		環境調和型農業の実践	JAS 7 県特裁 64	JAS 4 県特裁 65	JAS 10 県特裁 80	人 経営 体	
耕作放棄地の再生		1.3	2.8	2.2	ha		
農道舗装整備率		87.6	90	90.0	%		
有害鳥獣被害の防止(防護柵の延長)		163,000	177,589	181,000	m		
森林整備の推進と 持続可能な林業の 振興		間伐材搬出材積	12,793	30,568	28,000	m ³	
	林業作業士育成数	33	30	46	人		
	林道舗装率	45.82	50.4	48.34	%		
	まいたけ生産	92	140.65	150	t		

基本目標	基本施策	成果指標				
		指標	平成26年度 現状	令和元年度末 実績	令和2年度 目標	単位
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	中心市街地の活性化	市街地の観光入り込み客数	65.9 (過去5年の平均)	82.9	88	万人
		歩行者通行量	4,233	3,079	5,000	人
	戦略的な観光の推進	観光入り込み客数	193 (26年)	199 (暦年)	220	万人
	地域間交流の推進	交流を行う自治体数	13	15	15	自治体
	定住の促進	定住受け入れ件数	34	98	64	件
		定住のための住宅取得等助成件数	201	374	350	件
		空き家情報バンク制度成約件数	9	33	20	件
	雇用の確保と働く環境の整備	創業者数	2	23	10	人
		女性起業家・経営者の数	1	8	5	人
		育児休業取組事業所数	4	11	25	事業所
美しく豊かな自然環境を育み継承するまち	地下水の保全と湧水文化の再生	11月の平均地下水位 御清水観測井	1.02	1.44	1.20 未満	m
		春日公園観測井	5.08	6.46	5.50 未満	
		菖蒲池(浅井戸)観測井	6.49	7.62	7.00 未満	
	豊かな自然環境の保全と創出	地域で設置された自然環境に配慮した施設の設置数	11	12	17	カ所
		森づくりイベントへの参加者数	436	652	520	人
		化石発掘体験者数	2,984	8,280	5,000	人
		和泉郷土資料館での企画展の開催	0	1	1	回
	快適な生活環境の保全	水質基準を達成した河川の数	11	11	11	河川
		水洗化率	51.0	56.3	65.4	%
		違法な野外焼却に係る苦情件数	7	5	0	件/年
	良好なふるさとと景観の形成	芝桜などの植栽面積	330,000	455,694	500,000	m ²
	次代につなぐ持続可能な社会の形成	1人1日当たりのごみの排出量	875	950	850	g/人・日
		ごみの資源化率	24.5	21.9	26.0	%
		堆肥の購入量	2,846.60	2,748	4,100	m ³
	基本構想実現に向けた行政運営	市民総参加・協働型の市政の推進	パブリックコメント案件1件当たりの意見数	2.8 (1件当たりの平均)	9	8
情報化社会に対応した市政の推進		オープンデータ数	3	8	15	件
		施設予約システムでの利用可能施設数	4	4	10	施設
		電子申請システムでの利用可能手続数	18	33	40	件
		市ホームページアクセス件数	305,916	899,674	370,000	件

※成果指標項目をベースに掲載しています。

第五次大野市総合計画
令和元年度における取組状況報告

令和2年6月
大野市企画総務部政策局 総合政策課